

BIG3
プレミアム
講演会

成功への扉

～ Always Innovation ～

キャリア50年、本多・内藤・山崎BIG3が追求する唯一のセミナー

日時 2022年3月21日(月・祝) 10:00～17:30

会場 大手町三井ホール WEB 大手町三井ホールよりLIVE配信

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が先行き不透明なことをふまえ、「参加者の安全」と「感染防止」を最優先に考え、本講演会は現地会場である大手町三井ホールとWEB配信を併用したハイブリット形式にて開催することにいたしました。関係各位には、開催に向けてどうかご理解ならびにご協力をお願い申し上げます。

プログラム

10:05～11:50

本多 正明 先生

本多歯科医院院長
日本臨床歯科学会副理事長
大阪歯科大学口腔インプラント学講座臨床教授



良好な Longevity ～ 力のコントロールから考察 ～

12:50～14:35

内藤 正裕 先生

内藤デンタル・オフィス院長
神奈川歯科大学客員教授
くれなゐ塾主宰



新しい扉 ～ 機能との折り合いを求めて ～

15:05～16:50

山崎 長郎 先生

原宿デンタルオフィス院長
日本臨床歯科学会理事長
日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座客員教授



最新の審美・インプラント治療 ～ 審美と機能の調和を目指して ～

16:55～17:30

パネルディスカッション

パネリスト：本多先生、内藤先生、山崎先生

会場セミナー参加費

歯科医師 ¥35,000-税込
歯科技工士・歯科衛生士 ¥15,000-税込
先着順の為、定員になり次第締め切らせていただきます

WEBセミナー参加費

¥30,000-税込

セミナー詳細・お申し込み方法
「BIG3 プレミアム講演会」
特設サイトをご覧ください

www.big3-premium.jp



Webセミナーのお申込みはこちら

<https://academy.doctorbook.jp/movies/1002600>



■ お申込みに関するお問い合わせについて

BIG3 プレミアム講演会事務局 セミナー受付係 (白水貿易株式会社 広報内)
〒532-0033 大阪市淀川区新高 1丁目1番15号
TEL : (06) 6396-4411 e-mail : seminar@hokusui-trading.co.jp

良好な Longevity ～力のコントロールから考察～

本多 正明 先生

近年、インプラント治療や審美修復治療が脚光を浴びようになっている。また、デジタルデンティストリーも、目覚ましい進化を遂げ、補綴治療や矯正治療など多くの分野に影響をもたらしている。

しかし、`Dentistry is Occlusion、この言葉を耳にして以来、ほぼ半世紀になるが、一部の臨床家の間では、死語になっているように言われている。しかし、将来の歯科臨床を長期的予後からみると、高齢化社会になっている現在、決して良好な Longevity を得られるとは考えられない。

今一度、咬合・機能を基盤にした臨床に立ち返ることが必要な時期が来ている。

今考えるべき咬合とは、過って強調された下顎運動（限界運動）を中心にした機械的な咬合ではなく、生理的な口腔機能の回復・改善と同時に補綴的再介入を考慮した咬合であろう。

今回は長期症例からまとめてきた「良好な Longevity を予知できる 8 要素」について解説したい。

- | | |
|---------------|---|
| ① 炎症のコントロール | ⑤ 咬頭嵌合位の安定 ← パーティカル ストップ 適正な白歯の位置と咬合面形態 |
| ② 歯列の連続性 | ⑥ 白歯離開咬合 ← アンテリア ガイダンス 良好な前歯（犬歯）の位置と形態 |
| ③ 良好な咬合支持（指数） | ⑦ 力のコントロール（咬合力、圧力） |
| ④ 生理的な顎頭位 | ⑧ リコール チェック |

新しい扉 ～機能との折り合いを求めて～

内藤 正裕 先生

インプラントと CAD/CAM は私たちの考え方と方法論を根底から変えようとしています。

計り知れない恩恵といえるでしょう。その反面、隠れていた課題も大きく浮上してきました。

新しい解決法は、かつて注目していなかった別の深刻な問題点を引き連れて登場します。

それはヴァーチャルなツールだけでは解決が困難で、私たちの手許にある鍵が意外と役に立つかも知れません。

今回、可変性の少ないインプラントや強靱な新素材と生体との共存に眼を向け、鍵穴をマイクロスコープで覗きながら、山崎、本多両先生と 3 人で「新時代の新しい扉」を開いてみたいと考えています。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ① その中心咬合位は信じられますか | ④ 最後白歯の修復に問題がありませんか |
| ② インプラントの咬合はどうしますか | ⑤ 予期しない破折や、咬耗に苦労しませんか |
| ③ アンテリアーガイダンスは大丈夫ですか | ⑥ 歯根膜の存在と共生していますか |

最新の審美・インプラント治療 ～審美と機能の調和を目指して～

山崎 長郎 先生

現代の審美歯科・インプラント治療には、マテリアルの革新・開発により大きな変化がもたらされている。しかも、その発展と進歩の速度は、私達の予想を遥に超えるものとなっている。

一方、患者サイドにおいても、様々な媒体・分野から情報・知識を得て、従来の審美・インプラント治療より更に一步進んだ審美性を望む声が高まりつつある。この事自体は非常に喜ばしい事であるが、一方、それはある種の危険性を孕んでいる。つまり、審美性を追求するあまり、治療の本質を歪めかねない、と言う事である。審美・インプラント治療は審美・機能・構造力学・生物学・歯肉レベルの 5 つの基本事項を満足させ得る物でなければ、真の意味での歯科審美・インプラント治療とは言い難い。

本日は、この 5 つの基本事項の本質を明確にし、これら 5 つの基本事項に裏付けされた審美・インプラント治療の臨床的基準についての話しを、咬合治療の実際と併せて進め、更に、YAMAZAKI の分類を基に最新の他家との連携及び CAD/CAM を利用したインプラント治療を解説したい。

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------|----------------|
| I、最新のマテリアルと修復手法（CAD/CAM の有効性） | | | |
| ① Composite | ② Porcelain Inlay Onlay | ③ Laminate Veneers | ④ All Ceramics |
| II、現在のインプラント治療の概念（欠損状態の分類と対処） | | | |
| ① Single Tooth Implant | ② Multiple Tooth Implant | | |
| III、複雑な症例のインターディスプリナリーマネージメント | | | |
| ① 歯周・矯正治療との連携 | | ② 未来型の歯科治療とは | |